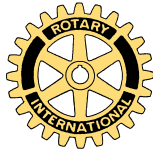


## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2007～2008年度 国際ロータリー ウィルフレッドJ.ウィルキンソン会長テーマ

ROTARY SHARES ロータリーは分かちあいの心

創立 1954年3月8日  
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30～13:30  
例会場 刈谷市新栄町3の26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL (0566)22-2111  
FAX (0566)25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 橋本恭典  
幹事 鈴木文三郎  
会報委員長 酒部正博

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第2582回例会プログラム

[当年度=24回目；当月=3週目]

2008年（平成20年）2月18日(月)

## 1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム  
12:30 2. 点鐘……〈会長〉  
3. 開会宣言  
4. ロータリーソング斉唱  
……それこそロータリー  
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
6. 食事
- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告  
8. 幹事報告  
9. 出席報告  
10. 委員会報告  
11. ニコニコボックス報告  
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(2/25)……卓話  
講師 社会福祉法人 ひかりの家  
名誉園長 伊藤 寿美<sup>すみえ</sup> 様  
(紹介者 石原 鈞 会員)  
(3/5)……西三河分区分ターシティ ミーティング(IM)  
14:00～ リリオコンサートホール・  
知立セントピアホテル  
※3月3日(月)の例会変更分です。

## 2. クラブフォーラム……………〈国際奉仕委員会〉

- 13:00 卓話 「私の見た台湾と中国」  
講師 2005～06年度ロータリー財団国際親善奨学生  
平田 康治<sup>ひらた こうじ</sup> 君  
(紹介者 杉浦世志朗 会員)  
13. 謝辞  
14. 点鐘……〈会長〉  
15. 閉会宣言  
13:30 16. 散会

## 出席

会員総数 95名 出席免除 19名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 90名  
欠席 10名 出席率 88.89%  
前々回(1/28)の修正出席率 98.84%

## 会長報告

- 1) 次年度地区委員の委嘱状が届きました。お名前を申し上げますので恐れ入りますが、こちらまでお越しく下さい。次年度1年間よろしくお願い致します。
- |          |            |
|----------|------------|
| 地区諮問委員会  | 野村 重彦 会員   |
| 地区財務委員会  | C 野村 重彦 会員 |
| 青少年交換委員会 | 野村紀代彦 会員   |
| 環境保全委員会  | ○ 岡本 巧 会員  |
| 研修委員会    | ○ 前田 孝司 会員 |
| 会員増強委員会  | ○ 太田宗一郎 会員 |
| 年次寄付委員会  | ○ 加藤 俊二 会員 |
| 恒久基金委員会  | 吉原 孝彦 会員   |
| 米山奨学委員会  | ○ 竹内 一郎 会員 |
| 地区史編纂委員会 | 内藤 耕造 会員   |
- C：カウンセラー ○：副委員長
- 2) 嶋津孝久会員に第4回マルチプル米山功労者の感謝状が届いておりますのでご披露します。
- 3) 去る2月4日に刈谷音楽協会、事業経過報告会があり、嶋津社会奉仕委員長に出席して頂きました。
- 4) 9日には安城 RC50周年記念式典があり、私と塚本エレクトで出席して参りました。大雪のなかい出深い出来事となりました。
- 5) 12日は刈谷市緑化推進協議会があり、杉浦芳一環境保全委員長に出席して頂きました。
- 6) 14日ゴルフ例会が豊田カントリーで開催され地主の盛田会員がすばらしいスコア、グロス76で優勝されました。当日所用でプレー後すぐにお帰りになられたのでここで表彰させていただきます。
- 7) 15日、刈谷市交通安全推進協議会があり、鈴木幹事に出席して頂きました。



## 幹事報告

- 1) 金子ガバナー補佐より、西三河中分区の分区名変更について、今年度は名称変更を見送る旨の連絡がありました。
- 2) 新入会員の会員名簿の追加分をメールボックスに入れさせて頂きましたので、各自会員名簿の余白部分に貼って頂きます様お願い致します。
- 3) 当クラブの会員証（下期分）をメールボックスに入れさせて頂きましたので、お受け取り下さい。

## 委員会報告

### ●環境保全委員会

2月12日(火) 刈谷市緑化推進協議会へ会長代理で出席して参りました。花の種をもらってきましたのでご希望の方は私までお願いします。

### ●ロータリー財団委員会

ロータリー財団奨学生の募集がきております。奮って応募者をご紹介ください。詳細は事務局まで。

## 会長あいさつ

### 橋本 恭典

「セルビアのコソボ自治州が独立」との今朝のニュースで、さもありませんコソボはほとんどの住人がアルバニア人なので、同民族のアルバニアに併合されるのが私的な常識です。コソボ自治州は行ったことがないので、ヨーロッパの最近独立したバルト3国のなかで、行ったことのあるラトビアの話をして。昨年天皇陛下が訪問され、一時話題にはなりましたがほとんどそれっきりのようです。中部空港からのヨーロッパ便は、フランクフルト、パリ、ヘルシンキと3つの都市に飛んでおります。それぞれの空港とも乗り換えるのには便利ですが、北欧や、ロシアのサンクトピョートル、あるいはバルト3国へ行くにはヘルシンキが便利です。フィンランドは森と湖、サウナの国で、我々日本人には比較的親しみの湧く国の一つですので、ご存知の方が多くと存じますが、さすがにラトビアはほとんど知られておりません。



ラトビアは面積が日本の1/6で人口228万人、首都の

リガに72万人住んでいます。言葉はラトビア語、ロシア語で、1920年ソ連より独立、1940年ソ連に編入、本当の独立は1991年だそうで、国歌や国旗にはものすごく敬意を払っております。日本が有史以来外国の領地になったことが無い事のほうが大いに不思議だそうで、本心からうらやましく思われました。ヨーロッパは16世紀になっても統一された国は少なく、イギリスもロシアもイタリアもドイツも統一された国ではなかったのです。

そのラトビアの会社に機械を販売し、機械の納入前に10人程の団体を名古屋で接待したときに聞いた話です。収入の関係もあるのでしょうか、家庭では飲酒の習慣がない人が多いようなのですが、一旦飲み始めると長く強いのです。アルコールも相当入って、お客さんの若手が仕切るようになりますと、30秒-1分位誰かがスピーチして皆で乾杯、しばらくするとまた誰かが立ってスピーチ、乾杯、その繰り返しが続きます。ロシア民謡のような合唱もけっこう上手なのです。めったにない宴会なので行えば時間をかけて徹底的に飲んで食べる。ロシア統治下ではなかった、仲間同士が本音で話し合えるのが最近のことだそうです。名古屋のしゃぶしゃぶ屋さんでは次の客はないとのこと5時間位ゆっくりさせて貰いました。

飲んだついでの話ですが、寒いときはホット赤ワインを飲む。これは安い赤ワインに、しょうが、オレンジの皮、丁子などを加え、沸騰しないよう気をつけながら、7-80度まで温め、1時間位冷まして保管し実際に飲むときまた温めて飲む方法です。卵酒に似てますね。

リガ市内は中層のアパートが多く、冬はセントラルヒーティングで世界どこも同じですが石油が高くなり電気は消せばよいのですが、セントラルヒーティングは消すことができないので、暖房費の高騰に音をあげているとのこと。

結婚の平均年齢は男33.0歳 女30.4歳、しかし初婚はそれぞれ28.4歳 26.3歳です。平均年齢は再婚もふくまれているからです。込み入ってきたので団体の中にいたラトビア通の日本人の説明ですが、女の初婚は26.3歳ですが、初産の平均は25.3歳だそうで、日本のお腹にいる時届けをだす、できちゃった婚とは少し違い、こどもが1歳になってから婚姻届を出している。より堂々としているように思われます。

民族の移住は国外に出るのはロシア人が多く入ってくるのはドイツ人が多いとのこと、また6歳以下の子供の国外からラトビアへの移住は全体の22%を占めているそうで、これなんかは出稼ぎにでた夫婦の子供を親類が面倒を見ている構図がよくわかります。

私は1回訪問しただけですが、首都リガの旧市街を川を挟んで対岸にあるホテルの部屋からみる景色は、絵葉書のワイド版のようで歴史の重みを感じるものです。13世紀後半から19世紀にかけて造られた、ドイツの建築様式の旧市街は世界遺産になっております。一度ゆっくりと訪ねて見たい国のひとつですと報告しご挨拶とします。

私は1回訪問しただけですが、首都リガの旧市街を川を挟んで対岸にあるホテルの部屋からみる景色は、絵葉書のワイド版のようで歴史の重みを感じるものです。13世紀後半から19世紀にかけて造られた、ドイツの建築様式の旧市街は世界遺産になっております。一度ゆっくりと訪ねて見たい国のひとつですと報告しご挨拶とします。

私は1回訪問しただけですが、首都リガの旧市街を川を挟んで対岸にあるホテルの部屋からみる景色は、絵葉書のワイド版のようで歴史の重みを感じるものです。13世紀後半から19世紀にかけて造られた、ドイツの建築様式の旧市街は世界遺産になっております。一度ゆっくりと訪ねて見たい国のひとつですと報告しご挨拶とします。

ラトビアは面積が日本の1/6で人口228万人、首都の

## 卓 話

### 「私の見た台湾と中国」

2005～06年度ロータリー財団 国際親善奨学生

平田 康治 君



本日、刈谷ロータリークラブにおきまして、再び皆様の前でお話できるのは私の最も喜びとするところであります。私は大学を卒業した直後の2005年9月より2006年8月まで、ロータリー国際親善奨学生として、英国のブリストル大学で勉強させていただきました。

その際は、鈴木文三郎さん大変お世話になりました。さて、私はブリストル大学で一年間勉強させていただいた後、本当はそのまま日本に帰国のはずだったのですが、1ヶ月ほど日本に滞在した後、そのまま中華民国政府の奨学金をいただいて、台湾台北市の国立政治大学で勉強させていただきました。

今回、私が1年間台湾に留学させていただいたのには2つの理由があります。1つは中国語の勉強をすること。もう1つは20世紀前半の中国の歴史を勉強するためです。この2つについて、順に説明していきたいと思っております。

まずは、中国語を勉強するという目的がありました。そのために、1年間毎日2時間大学の付属の中国語学校に通いました。しかしなかなか上達しません。中国語は、漢字を並べているだけなので、一見簡単そうに見えるのですが、その発音はおそろしく複雑なのです。もちろん日本人の中にもきれいな中国語を話される方もいらっしゃいます。例えばこちらにいらっしゃる竹内一郎先生です。実は、イギリスから一時帰国して台湾へ留学する直前、竹内先生は私をご自宅にお呼びくださり、中国語の発音の個人レッスンをしてくださいました。ビールを飲みながら何時間も熱心に教えてくださったのですが、私の発音はいつまでたってもカタカナ発音のままです。私に発音を教えるために何時間もむなしい努力を続けられた後、竹内先生は「ずっと頑張っていればいつかはうまくなるよ」と、非常に沈痛な表情でなぐさめてくださいました。

中国語の話は置いておいて、次は私の専門の話に移りたいと思っております。私が現在勉強しているのは大体1910年代、20年代の中国の歴史、特に外交史です。では、なぜ中国史の勉強をするのに、本場の中華人民共和国ではなく台湾を選んだのか？その理由の1つは、私が興味を持っている中華民国時代の史料の多くが台北にあるからです。1949年に国民党政府が台湾に逃れた時故宮の財宝の多くを一緒に台湾に持って行ったことは皆さんもご存知だと思います。実はそのとき、国民党は北京および南京にある政府の書類も台湾に持っていったのです。そのため、現在の人間が、例えば1920年代に北京で起っていた出来事を知ろうとすれば、北京でなく台湾に行かねばなりません。また、台湾には多くの有名な中国史の学者の先生方もおられます。私の勉強しようと思っていた中華民国初期の外交史で最も有名

な先生も、私の留学した政治大学で教鞭をとっておられたのですが、彼のご両親もまた、共産党政権の成立の際に国民党と共に台湾に逃れてこられた方々なのでした。

台湾で1年間暮らした後、昨年9月に日本に帰ってまいりまして、そのまま東大の修士課程で引き続き歴史の勉強をさせていただいております。

さて、私はこの1月より日中歴史共同研究のお仕事を手伝っています。これは、2006年10月の安倍総理の訪中の際、日中首脳会談において日中の有識者による歴史共同研究を立ち上げることに決まったものです。歴史認識問題が政治問題となって日中両国が国際社会で協力していくための阻害要因となっている、その障害を取り除くために、政治家ではなく日本の歴史学者と中国の歴史学者に会議を開かせ、討論させようということで始められたものです。2006年12月に北京で第1回の、2007年3月に東京で第2回の、2008年1月には再び北京で第3回の全体会合が開かれました。

特に、今回の会議で面白いなと思ったのは、日本側の先生の多くは、中国語が話せない、中国側の先生の多くも、日本語がまるでだめということです。これはどういうことかと言いますと、従来のこの手の日中共同会議だとか討論会だというのに参加する日本の学者というのは、中国に対して理解が深かったり、同情的な人々だったりした人々わけです。そういう人々が中国に言って歓待を受けて、日本国内には中国に対する侵略の歴史を否定する人々がいっぱいいる、というようなことを言ったりするわけです。そうすると、中国側の人たちの目には、日本人はごく少数の良識派・すなわち親中派と、多くの右翼に分かれているというような印象を持つわけです。しかし、今回参加されている日本人の先生方の多くは、親中派でもなければ右翼でもない。日本国内の、平均的な歴史学者の見方というものを反映したメンバーだということです。言葉が通じない、発想の枠組みが全く違う学者同士が、通訳を介して討論をするというのは、見ていて興味深いところがあるものです。

次回の会合は3月に鹿児島で開かれます。その次は中国の山東省で5月に開かれます。最後は東京で6月か7月に開かれ、最終報告書が書かれるはずですが、私はその全てにおいてお手伝いをさせていただくはずですが、これは、大学の中で純粋に行なう歴史の勉強とは全く異なる活動です。はっきり言って、論文を書くとか、そういう自分の専門的な研究の役には殆ど立ちません。が、この会議のために色々としてみたことは、国籍や民族を異にする人々同士が主張をぶつけあう時にどういう問題が起きるのかということや、過去の歴史を学ぶということが現代の世界に対して持っている意味とかいうことを、考え直すきっかけになってくれました。日中関係の改善、ひいては国際理解ということにもささやかながらも役に立っているのかと思うと、嬉しく思います。このような意味で、私に海外で勉強する機会を与えてくださったロータリー国際親善奨学生の制度、刈谷ロータリークラブの皆様に対する感謝の気持ちを忘れることは一生ないと思っております。

以上をもちまして、本日の卓話とさせていただきます。ご静聴ありがとうございました。

## 2月度刈谷 RC ゴルフ例会

平成20年2月14日(休)

於：豊田カントリークラブ

成績	氏名	G	H	N
優勝	盛田 豊一	76	5	71
2位	酒部 正博	89	16	73
3位	加藤 俊二	81	6	75
B B	高野 基弘	103	11	92

